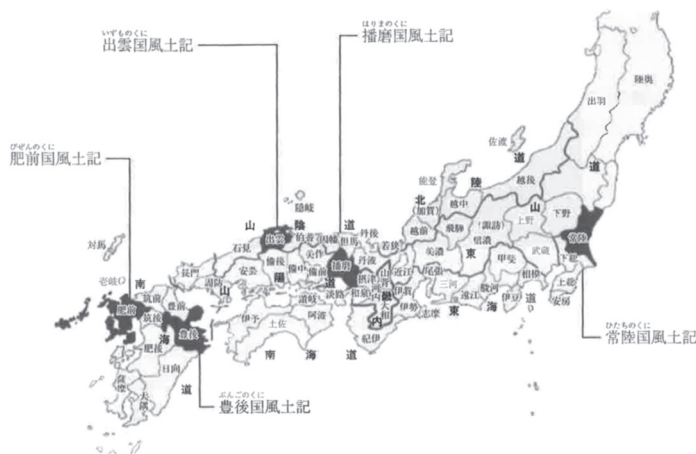


第2問 次の『播磨国風土記』に関する地図と文A・Bを読んで、下の問い(問1～6)に答えよ。



A 『風土記』と書いて「ふどき」と読みますが、『風土記』という一冊の本があるわけではありません。今から約1300年前の奈良時代、和銅6(713)年5月、朝廷は諸国国司に、①国内地名表記の好字化 ②国内の動植物や鉱物資源 ③土地の肥沃度 ④地名とその地名起源説話 ⑤古老の伝承などの調査、報告を義務づけました。これを受けて各国で作成された行政報告書を、一般に『風土記(ふどき)』と呼んでいるだけです。

(中略)

『播磨国風土記』には、約12,000字の文字が載せられ、すべて漢字で句読点もなく書かれています。もっとも多い情報は、上述の④「地名とその地名起源説話」で、地名の数は360例以上に及びます。そのなかには『古事記』や『日本書紀』の神話のなかに見られない、播磨独自のローカルな神々の話もみられ、当時

の人の信仰や生活習俗などを知ることができます。

(兵庫県歴史博物館ホームページより 一部改)

問1 『播磨国風土記』は約12,000の漢字で書かれたとあるが、編纂が命じられた時代に関して述べた文として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① この時代の貴族や官人には漢詩文の教養が必要で、大友皇子などによって現存最古の漢詩文集『懐風藻』が編まれた。
- ② この時代の書道では唐風の書が広まり、嵯峨天皇・空海・橘逸勢などに三筆と呼ばれる書家が出た。
- ③ この時代には漢字の他に万葉仮名を簡略化した文字や、漢字の一部をとった文字が表音文字として用いられるようになった。
- ④ この時代には五山・十刹の制がほぼ完成し、五山の禅僧は中国から水墨画などを伝え、漢詩文の創作を行った。

問2 朝廷が『風土記』の撰上を命じたのは、次の年表のどの時期に当たるか。最も適切なものを、①～④のうちから一つ選べ。 8

①
藤原京に遷都された。
②
三世一身法が施行された。
③
平安京に遷都された。
④

問3 播磨国は山陽道という行政区分に属したが、これについて述べた文として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 山陽道など七道と呼ばれた官道には約16 km ごとに駅家が設けられたが、官人がこれを利用することはなかった。
- ② 行政区分としての七道は南海道を除き畿内と接していたが、山陽道は東端の播磨国が畿内である丹波国と接していた。
- ③ 官道としての山陽道は東西の物流の大動脈であったが、次第に海運がさかんになり、瀬戸内海にその座を奪われた。
- ④ 七道の各国には中央から国司とその補佐役として郡司が派遣され、地方の有力者が世襲の里長に任命された。

問4 この時期の行政組織が整備された背景について述べた文として、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 時の天皇は荘園の増加が地方の公領(国衙領)を圧迫しているとして、荘園整理令を出し中央に記録所を設けた。
- ② 中国で隋が南北朝を統一し周辺地域の緊張が高まると、倭では蘇我氏が力を伸ばし、地方行政組織を整えた。
- ③ 諸国に守護が、荘園や公領には地頭がおかれ、次第に地方の支配体制が新たな形で整備されていった。
- ④ 大宝律令が定められ、二官八省などの中央行政組織ができるなど、中央集権の動きが強まった。

B 『播磨国風土記』以外にも4か国の『風土記』が現存する。『出雲国風土記』はア 天皇の在位中に完成した。ア 天皇は藤原広嗣の乱の後、恭仁京などに都を遷し世の中の平安を願った。その娘である孝謙天皇の時代には、藤原仲麻呂が光明皇太后と結んで力を伸ばした。藤原仲麻呂は淳仁天皇を即位させると権力を独占したが、光明皇太后が亡くなり孝謙太上天皇の寵愛がイ に移ると挙兵したが滅ぼされた。イ は孝謙太上天皇が重祚し称徳天皇となると仏教政治を推進し、遂に皇位を狙ったが、ウ などに阻止された。

いっぽう、8世紀の律令社会下の民衆は、西日本から次第にエ 住居が普及し、結婚の形態は男性が女性の家に通うオ 婚から始まり、夫婦は結婚しても別姓のままで、それぞれの財産を持った。

問5 空欄 ア ～ ウ に入る語句の組合せとして、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- | | | | |
|---|------|---------|---------|
| ① | ア 元正 | イ 道鏡 | ウ 和気清麻呂 |
| ② | ア 聖武 | イ 道鏡 | ウ 和気清麻呂 |
| ③ | ア 元正 | イ 和気清麻呂 | ウ 道鏡 |
| ④ | ア 聖武 | イ 和気清麻呂 | ウ 道鏡 |

問6 空欄 エ に入る語句の組合せとして、最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- | | | | | | |
|---|-------|------|---|-------|------|
| ① | エ 掘立柱 | オ 妻問 | ② | エ 竪穴 | オ 嫁入 |
| ③ | エ 竪穴 | オ 妻問 | ④ | エ 掘立柱 | オ 嫁入 |